

JL268 ジェットランチャー4輪用カプラーキット装着組立手順

このたびはジェットランチャー4輪用カプラーキットをお買い上げいただきありがとうございます。
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

※2番は1番に組まれています。

NO	品番	品名	数	■使用する工具
1	JL2681-1	カプラーキット用メインフレーム穴加工済品	1	◎スパナ13番もしくはモンキーレンチ
2	JL302	カプラーJL301K使用(ボルト、専用スペーサ付)	1	
3	IB010070AA	70角ブラケット4穴70mm (旧品番JB103)	1	
4	P04-8-90	SUS六角ボルト8-90	2	
5	JL2682	JL268取付けブラケット上	2	
6	JL2683	JL268取付けブラケット下	2	
7	P04-8-75	SUS六角ボルト8-75	8	
7	P04-8-80	SUS六角ボルト8-80	1	
8	P06-08	SUSワッシャーM8	20	
9	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	10	
10	P07-08	SUSナットM8	10	
11	6779	SUSリングピン M30 SPリング	2	
12	P17-15	SUS両穴ピン φ8×100	1	
13	P15-08	SUSナイロンナットM8	1	



コチラのQRコードより
弊社通信販売にて
交換部品販売しております。

使用上の注意！

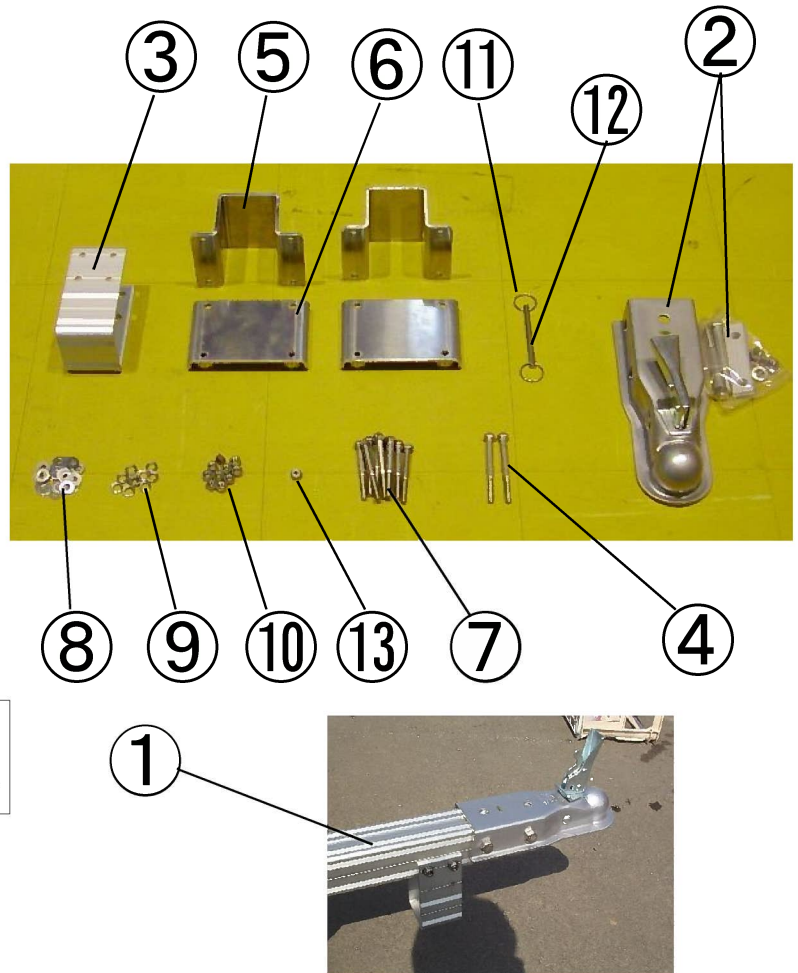
- 取っ手側のタイヤは外してご使用(牽引)ください。
- ご使用前には必ずボルト&ネジ類のゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故、破損の原因になります。
- 輸送時は必ずランチングフックを艇にかけてください。
- ジェットランチャーの適応PWC以外は絶対に乗せないでください、破損の原因になります。
- 牽引速度は5km以下(歩行速度にて)でご使用ください、速度超過は絶対におやめください。破損します。
- 本品を使用に際しては、速度超過、急発進、不要な急ハンドル、不要な急減速をしないでください。
急ハンドル、急減速等した場合は必ずPWCの積載状態を確認してください。
- 長距離走行される場合や整地路でない場合は、さらにロープ、ベルト等でしっかりと固定して走行してください。
- 悪路等走行する場合は前方の安全や路面状況を、よく確認してご使用ください、無理をしますとフレーム等破損の原因になります。
- 水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 定期的に各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。
そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- 長期にて保管される場合はタイヤの空気圧等を定期的にチェックしてください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますとケガの原因となります、必ずグローブ&ブーツを着用の上ご使用ください。
- 高い位置からの乗せ移し(トラック荷台等)は危険です、またランチャーの破損の原因になります。
- 水際での乗せ上げの際は必ず前フレームを外してご使用ください。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。



完成装着写真

※牽引時は取っ手側のタイヤは外してご使用ください。

●公道での牽引使用はできません、速度時速5km以下でご使用ください。
速度超過は破損の原因になります。その他使用上の注意をご確認ください。



フレーム ガイドブラケットの取付



後方部



前方部

ジェットランチャーの左右連結パイプを上下から挟むようにしフレームガイドブラケットをボルトM8-75、ワッシャー/ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて固定します。
※左右のセンターに位置するよう注意して下さい。
※センター補強フレームは左右のどちらかに移動してください。

スタンドブラケットの取付



カプラーの後ろの穴にスタンドブラケットをボルトM8-90、ワッシャー/ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて取付けます。

前フレームを差込み、ピンにて固定



最後に前後のフレームガイドブラケットに組み立てた前フレームを通して最後部にストッパーとしてM8-80、ナイロンナットを取付けます。
前側のフレームガイドブラケットにはSUS両穴ピンを差しSPリングで抜け止めをして完了です。
※牽引時は取っ手側のタイヤは外してご使用下さい。

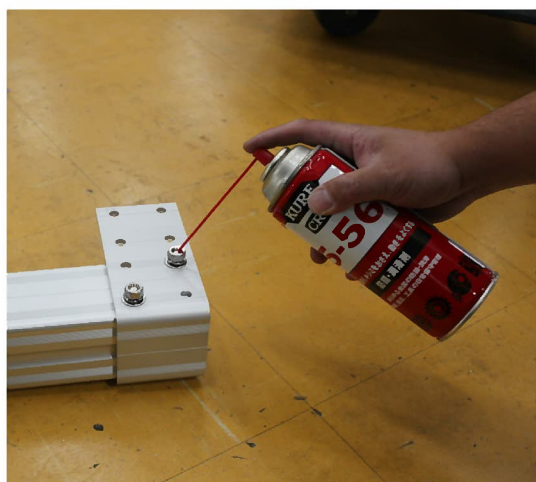
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。



<<必読！>>

カプラー牽引時の際は別紙取扱注意事項の他に下記について厳守してください。誤って使用しますと破損する恐れがありますので必ず守ってください。

●公道では走行できません。

●牽引速度は時速5km以下（歩行速度程度）でご使用ください。

●凹凸路面では路面状況をよく確認しさらに減速して走行してください。バウンドしますと瞬間加重は艇体重量の2～3倍（約1トン以上）になり破損する恐れがあり大変危険です。

●適時後方のPWCや周囲を確認して安全走行してください。

●ランチングフックは必ず掛けてください。長距離や凹凸路では別途ベルトロープ等で固定してください。また走行時、適時確認をしてください。

●使用前各部のボルトナットの増し締め確認をしてください。緩んだ状態で使用しますとフレームが破損します。